

反ジェームズ・ボンドな黒縁眼鏡のハリーが、人権や働き方に敏感にならねばならない現代にフィットする妙。上流階級出身の才色兼備な諜報員ジーンが、ジャッキー・ケネディ風のカラフルな60年代ファッションで突出して際立ち、周囲を優雅に魅了する違和感の痛快さはやみつきになります。新しいファッションアイコン誕生の兆しを感じます。

———中野香織(作家/服飾史家)